沈黙の世界（1956）

LE MONDE DU SILENCE
THE SILENT WORLD

メディア	映画
ジャンル	ドキュメンタリー
製作国	フランス
色彩	Color
時間	85分
初公開日	1956/08/24
公開情報	東和
リバイバル	1974/07［東映洋画］

【キャッチコピー】
そこにあった！目にまばゆい《青い世界》！　数々の賞に輝く永遠神秘なる深海ドキュメント！（リバイバル時）

【解説】
　ジャック＝イヴ・クストーは海に関する専門家を集め、海洋探査船カリプソ号で地中海、紅海、インド洋へ海中調査の航海に出た。彼らはイルカの大群に迎えられ、水中スクーターで海中を探索、さらには海底の難破船も調査していく。また、珊瑚礁の研究にも取り組み、ついにはクジラの群れとも出会う調査隊。だがそのさなか、一頭の子クジラが船のスクリューに巻き込まれ、大きな傷を負ってしまう。さらに一行がそのクジラを安楽死させると、今度はその血を嗅ぎつけたサメたちが集まり死体をむさぼり始める。その残虐さを見過ごせない乗組員たちは、銛などでサメたちへ反撃に出るのだった。やがて、一行は無人島を発見。そこには、産卵に臨む多くのウミガメたちが生息していた…。
　世界的に有名な海洋学者クストーが、まだ「死刑台のエレベーター」で劇映画デビューする以前のルイ・マルの協力を得て作り上げた海洋ドキュメンタリーの金字塔。とはいえ堅苦しい作りではなく、イルカをはじめとする海中生物のユーモラスな描写が、あたかも環境ビデオのような気持ちよさで描き出されている。教育でもない、残酷でもない、ただあるものをその通りに撮影した純粋な記録映画と言えるかもしれない。３５年後に同じくフランスのリュック・ベッソンが撮った「アトランティス」の、まさに先駆的作品。

【クレジット】

監督	ジャック＝イヴ・クストー	Jacques-Yves Cousteau
	ルイ・マル	Louis Malle
撮影監督	エドモン・セシャン	Edmond Sechan
撮影	フレデリック・デュマ	Frédéric Dumas
	アルベルト・ファルコ	Albert Falco
音楽	イヴ・ボードゥリエ	Yves Baudrier
	セルジュ・ボド	Serge Baudo

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.